

1966 44

日本大学工科校友会

桜

工



若きエンジニア

しうかんのひいずるくにこそわがそこくそ
 のなをばにいてそびゆわがほこうのび
 ゆくにほんのちからはここにちを
 ひらきゆくものわがきエンジニア

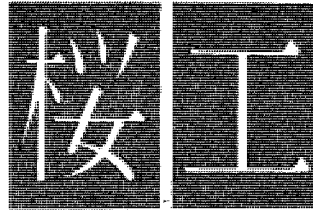
堀内敬三 作詞作曲

- 1 昭渙の日出づる国こそわが祖国
其の名をば担いて聳ゆわが母校
伸びゆく日本の力は茲に
地を拓き行く者若きエンジニア
- 2 青春に夢あり宇宙に真理あり
現実と理想を結ぶもの我等
科学の力と不屈の意志を
武器として進まん若きエンジニア

日本大学の目的

および使命

1. 日本大学は、日本精神にもとづき、道統をたつとび、憲章にしたがい、自主創造の気風をやしない、文化の進展をはかり、世界の平和と人類の福祉とに寄与することを目的とする。
2. 日本大学は、広く世界に知識をもとめて、深遠な学術を研究し、心身ともに健全な文化人を育成することを使命とする。



日本大学
 工科校友会誌
 1966
 VoL. 11
 No. 44

■先輩のころ……語る人…松田勘次郎先生… 5

■ゆめはうつつである……五来 達…14

■学生のころ……清水 一…17

■期待される学生像 (アンケート)……11

小谷喬之助・近江栄・笠井芳夫・

小林文次・佐藤稔夫・大島久次・

伊藤喜三郎・中里英二

■アンケート*趣味よもやま/佐藤佐一

大山松次郎・岡田憲吉・奥野俊彦・落合

林吉・尾上隆治・木村雄四郎・倉西正嗣

・黒柳惣十・関慎吾・当山道三・富田俊

広・長尾理喜夫・中島進・名取康・成瀬

勝武・南山齊・山本勝造・吉田耕介……24

■まず部会を強化/木田新会長語る……10

■桜工のあり方について想うこと/名取康……27

■電々公社支部発足に際して/鬼島英雄……29

■工科校友会総会開く……31

■理工・短大・生産各学部の後援会ひらく……28

■理工学部の学術講演会についておしらせ……28

■支部だより/電々公社支部生る・桜葉会大

会・同富山大会・宮城支部総会・山形支部

総会■会合だより/久保田鉄工大阪地区同

窓会・昭土会クラス会・専土2回生クラス

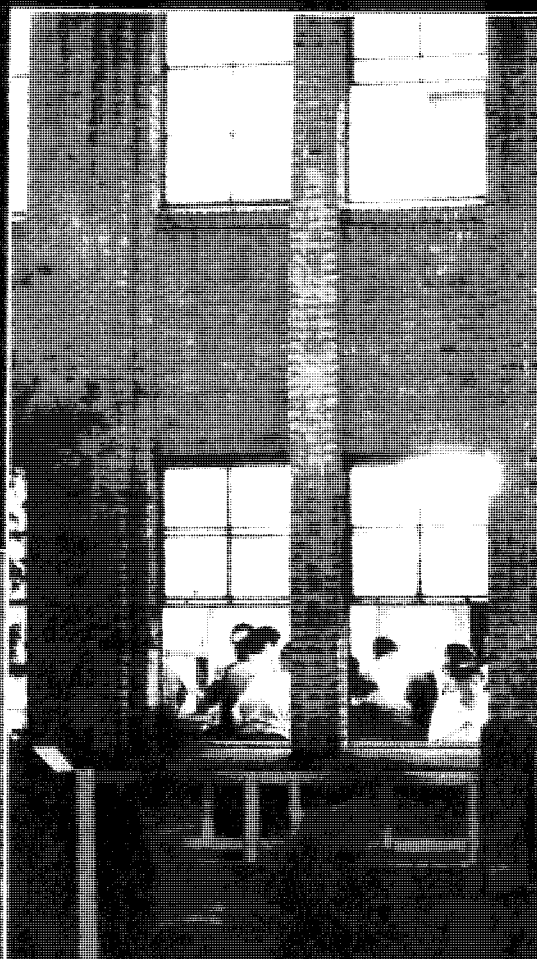
会・土よう会クラス会・学土15回生クラス

会・専電20回生クラス

■グラビア 夜学生 (解説18) ■オーコースコ

ープ

夜に学ぶ二部
学生たちの姿



食堂で講義あい間の
あわただしい夕食
(午後7時半)

★本誌への寄稿について 皆さんの寄稿を歓迎します。内容は論説，随筆，紀行，詩歌なんでもいいです。締切は特別に定めはありませんが，枚数は200字詰原稿用紙で9枚から27枚。写真や図版はこの枚数と別です。なるべく筆者の写真を付けてください。原稿の送り先きは，下記の桜工編集係です。

■昭和41年6月25日印刷／31日発行

■編集兼発行人／高木政司

■発行／日本大学工科校友会（東京都千代田区神田駿河台1の8／電話東京293-3251内線206／振替・東京162710）

■印刷／本文・鉄鋼新聞社印刷部，グラフィア・和喜グラフィア

■会誌委員／委員長菅原要（建築）／土木・下青木秀吉，榎本勝美／建築・安藤三郎／機械・大内順，青木顕一郎／電気・篠原博，高橋信夫／化学・大塚喜作，大内藩／経工・清水潤／薬学・山内盛（40年度委員）

..... 雑記帳・ざつきちよう・雑記帳・ざつきちよう